

「みんなが主役 取り組もう!!ごみ減量とリサイクル」

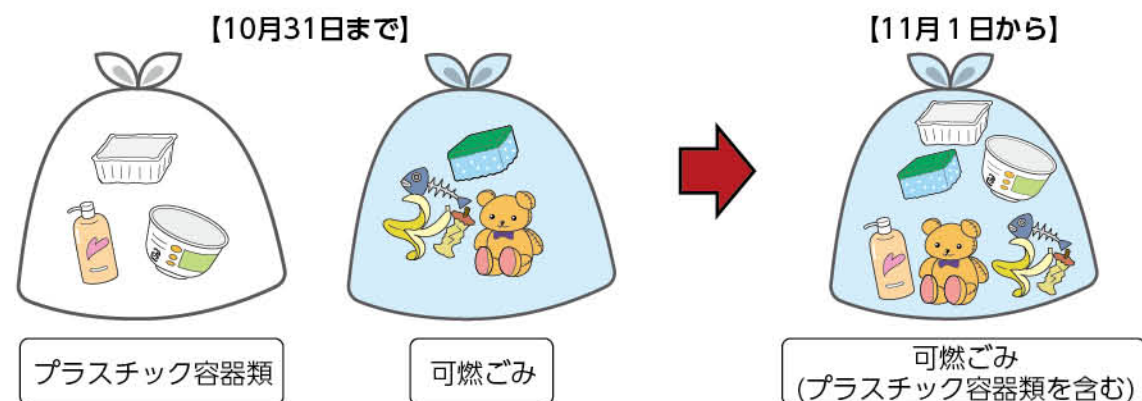
11月1日(月)からごみの出し方が変わります！

変更については、広報いなみ10月号と一緒に配付しました「ごみの手引書」に詳しく記載していますので、併せてご覧ください。

変更後のごみの出し方について

「プラスチック容器類」は「可燃ごみ」として出してください

- プラスチック容器類は分別せずに可燃ごみのごみ袋と一緒にに入れて出してください。
※分別された状態でも収集はしますが、可燃ごみとして収集します。
※ペットボトルは、月1回の「ペットボトル」の日に出してください。
- ごみの袋は中身の見える色の袋(黒色以外)を使用してください。



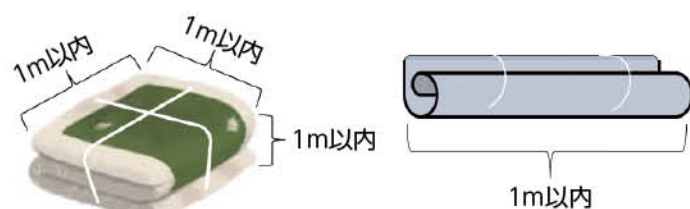
「長尺可燃ごみ」(ふとん・カーペットなど)の出し方

粗大ごみ・長尺可燃ごみの収集場所に右の写真のようなコーン(看板)を設置しています。通行の妨げとならないように、粗大ごみと長尺可燃ごみを少し離してコーン(看板)の近くに出してください。
※粗大ごみに長尺可燃ごみが混じると収集できません。



【出す時の注意事項】

- ・ふとんは水を吸うと重くなるため、雨天時または雨天が予想される場合は出すのを控えてください。
- ・たて・よこ・高さ1m以内の大きさになるように、ふとんはたたみ、カーペット・ござなどは巻いて、ひもでくくって出してください(イラスト参照)。



- ・電気毛布や電気カーペットの電気コード類は取り外すか切断して不燃ごみとして出してください。

11月の粗大ごみ・長尺可燃ごみ収集日については、17ページをご覧ください。

「使い切りライター」の出し方

中身のガスをできるだけ使い切って出してください。

「乾電池」・「使い切りライター」はそれぞれ分けて透明な袋に入れ、資源ごみの収集場所にある青い「回収かご」に出してください。



<長尺可燃ごみの例>

「長尺可燃ごみ」とは布やゴム・プラスチックなどの燃える素材で45ℓのごみ袋に入らない長尺物です。

- ふとん ●カーペット ●電気毛布
- 電気カーペット ●ござ ●ブルーシートなど

令和2年度
(令和2年4月～令和3年3月)

決算

町の会計は、一般会計、特別会計(4会計)、企業会計(2会計)に分かれています。決算の概要をお知らせします。

令和2年度の一般会計の収入は、155億9,825万円で前年度より30.7%増加し、支出は147億5,470万円で前年度より30.8%増加しました。

前年度から大きく増加した理由は、特別定額給付金などの新型コロナウイルス感染症対策費用があったためです。

収入と支出の差額は、8億4,355万円ですが、ここから翌年度へ繰り越した事業に必要な金額2億7,395万円を差し引いた実質収支は5億6,960万円の黒字となります。

また、前年度繰越金や財政調整基金への積立てなどを除いた当該年度における実質的な収支を表す実質単年度収支は△8,961万円となり、13年ぶりの赤字となっています。

一般会計、特別会計及び企業会計の決算

区分	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	155億9,825万円	147億5,470万円
特別会計		
国民健康保険	34億9,473万円	34億9,472万円
後期高齢者医療	4億9,071万円	4億8,291万円
介護保険	23億 180万円	22億 360万円
介護サービス	2,421万円	2,421万円
水道事業会計	収益的収入及び支出 6億3,691万円	5億1,059万円
資本的収入及び支出 ※1	2,775万円	1億2,909万円
下水道事業会計	収益的収入及び支出 13億7,168万円	11億5,293万円
資本的収入及び支出 ※2	5億 315万円	11億8,166万円

※1 水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、当年度分損益勘定留保資金及び建設改良積立金で補てんしました。

※2 下水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、当年度分損益勘定留保資金及び当年度分利益剰余金で補てんしました。

令和2年度の主要な事業の成果

令和2年度は様々な事業を実施しましたが、主に次のようなことにお金を使いました。



稲美町地域振興商品券事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により売上が減少した町内の小規模事業者の支援と消費を喚起することを目的に、一人当たり5千円分の地域振興商品券を交付しました。



天満幼稚園施設環境改善事業

天満幼稚園での3歳児教育の実施に向けて、園舎を増築するための実施設計や園庭造成工事を行いました。



子育て交流施設等整備事業

子育て支援機能と福祉会館機能を備えた子育て交流施設「いなみっこ広場」を建設しました。



広域ごみ処理事業

ごみ処理の効率化のため、広域ごみ処理施設の共同建設に取り組みました。

財政健全化の指標

財政健全化法により自治体には、財政の健全性を表す指標の公表義務があります。早期健全化基準を超えると自主的な改善が義務付けられる「財政健全化団体」となります。

令和2年度決算に基づく財政指標は、いずれの指標も基準をクリアしており良好です。

		稲美町の比率	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計の実質赤字額が財政規模に占める割合	—(※1)	14.05%
連結実質赤字比率	全ての会計の実質赤字額の合計が財政規模に占める割合	—(※1)	19.05%
実質公債費比率	借入金の返済額等が財政規模に占める割合	5.1%	25.0%
将来負担比率	借入金など将来にわたり負担すべき額が財政規模に占める割合	—(※2)	350.0%
資金不足比率	公営企業の資金不足額が事業規模に占める割合	—(※3)	20.0% (経営健全化基準)

※1 会計の実質収支に赤字がないため、比率は算定されません。

※2 借入金残高などの将来負担額を基金残高などが上回ったため、比率は算定されません。

※3 会計に資金不足がないため、比率は算定されません。